北海道地震に遭遇して

神奈川県異業種連携協議会
専務理事　芝　　忠

１　明け方の地震

2018 年 9 月 6 日、午前３時過ぎ、札幌の息子の部屋に泊まっていた私は、大きな揺れに襲われ飛び起きたが、廊下の非常灯しか電気がつかない。棚から本が落ちてくる。震度 7 の地震による全道停電(ブラックアウト)の始まりだった。

ベランダ越しの外の月明かりでほんのり明るい。とにかく夜が明けるまでは玄関のドアと窓を開けていつでも逃げられる.ようにした。アパートは４階建てで、息子の部屋は 2 階の一番奥だ。廊下の窓も開けた。札幌市内を流れる豊平川の堤防が目の前だ。台風の影響で水嵩が増している。川向こうの高層マンションも真っ暗だ。

車は走っているが、どうやら信号の明かりも消えている。交通整理する人がいないから、横断するのも非常に怖い。もちろん車の方も徐行していたが、もともと信号機のないところは勢いよく走ってくるから怖い。メイン通りでないから警察官もいない。

２　車の明かりが頼り---水不足

真っ暗の中で自動車の明かりが頼りだ。駐車している車の明かりで、前後を判断する。東日本大震災時は都心でないから車の明かりも無かったろう。さすがに津波は来ないが大都市圏は停電の影響が大きい。川向こうの高層マンションではエレベータも止まっているだろう。こうなると本当に怖い。

後でわかったが、札幌市電や地下鉄もストップした。もちろん航空機も JR も動かない。水道の水が出ない。近所の戸建の家は水が出る。水道管が壊れているのではなく、アパートは電気が止まったから、上に挙げるポンプが動かないんだ。飲み水は川を渡った橋のたもとに水道局の事務所があって、1 人 6 リットル入りの水を 2 袋配っていた。1 袋 6 ㎏だから、とても 2 つも持てない。1 つをようやくエッチラオッチラ持ち帰った。非常用の水の配布を始めて経験した。水袋は良く出来ていて、説明文を見ながら管から水を注ぐことが出来た。次はトイレ用の水だ。同じアパートの女性が公園の水がでるからとバケツ２杯分くれた。年寄りにはみなさん親切だ。助かる。電気は 3 日間止まった

近隣は結構不便なところで、コンビニも見当たらない。中堅スーパーの食品棚は空っぽだ。入口に行列をなしている。小さな八百屋を見つけて、じゃがいもやさつまいも、とうもろこしを買う。幸いガスは出るので、お湯を沸かして代用食だ。他人の家だから、懐中電灯のありかもわからない。後で息

子に聞いて段々様子が分かってきたけど、息子も予想していないから、そういえば懐中電灯が〇〇にあると、時間とともに思い出す。

３　ペット亀

実は息子が亀を飼育していて、寒いからと風呂に入れている。水槽もあるんだが、水替えが大変で、確かに風呂の栓を抜けば掃除が楽だ。息子はシャワーで我慢している。それも亀が９匹もいるんだ!!　息子の代わりに餌をやって掃除までして、面倒見ていた。あとで感謝されたけど。亀も色々いて、慣れてくると、餌をねだって首を上げて催促する。段々かわいくなる。飼い主の気持ちも分かる。小さいのは５ｃｍ、大きいのは２０ｃｍくらいある。首が５㎝も長いやつもいる。

４　銭湯

自分は近くの銭湯に毎日通った。板台のおばさんと仲良くなった。もちろん地震直後は銭湯も閉店だ。銭湯の御客さんには刺青の人が多い。聞けばもう１軒のスーパー銭湯が入湯禁止なので、ここに集まるらしい。石鹸やらシャンプーやら、入れ物も必要。慣れないから困る。初日は電気の通電が遅くて水温が低く、使う人が多く、あまり温まらない。日ごろたまには銭湯のお世話になっておく必要がある。

電気の回復はまだら模様で、病院は早い。自分のところは３日間ストップしたが、夜中にトイレのタンクの水がドロドロ音がして給水を開始したときは本当にほっとした。電気の有難みが分かった。

周辺の人達は初対面だから最初は口も利かないが、こちらから挨拶して「電気も水もストップして大変ですね」と言うと戸建てのお宅は「うちは、水は大丈夫だから差し上げますよ」と親切だ。言ってみるもんだと思った。周辺はプリント印刷工場地帯で、ワクづくりの木工屋さんも多い。２日間全く作業ストップしていた。

５　息子の急病

ところで、札幌へ行ったわけは、９月１日の朝、息子が緊急入院したからと、病院から連絡があり、取るものも取りあえず羽田から新千歳行の便に乗った。入院先は札幌北部の脳神経外科の専門病院だ。３年前に新築された近代的な病院で、専門医が 10 数人いる。

息子はスーパーで買い物中に倒れて、救急搬送された。近くに民医連系の総合病院があったが、脳神経外科の専門ではないからと、札幌北部の禎心会病院へ再搬送された。そこは医療関連職員が多く、患者一人一人の病状を常時監視するモニター装置があり、また酸素ガスなどの配管は全て壁内におさめられているので、部屋が広々と感じられる。

息子は倒れたとき前頭部を最初に打ち、その後後ろにひっくりかえって後頭部を打った模様で、主として後頭部に血の塊=血漿があって、手術で取り除くことを検討したようだが、担当

医の判断で、縮小するかもしれないと様子を見た結果、結局手術なしで退院した。当初の頭痛は 1 ケ月程度で解消した。しかし打撲による血漿の陰に隠れたのか、最初の症状の出血箇所が不明で、「原因不明」の診断だった。

当初は頭痛がひどく、本人は早く手術してくれと言っていたが、幸い手術なしで済んだ。病院に感謝。手足の麻痺などが全く残らなかったが、鼻を通しての味覚の麻痺が一部残り、これは本人の職業(料理人)上、重大な障害になるかもしれない。退院した本人には、原因が特定できないから、再発する可能性もあり、たまたま人がいるスーパーだったから良かったものの、自宅で一人の時倒れたら、そのまま死んでしまうかもしれないと脅かしている。

今まで息子とは半年に一回くらいしか、連絡を取りあわなかったのを反省して、2～3 日に一回はメールか電話をするようにしている。自分も高齢だから、どっちが危ないか分からない(笑い)。幸い、今のところ順調に回復し、通院も不要とのことだった。

6　全道停電

さて今回の停電は、オール北海道が停電するというブラックアウトという初めての現象が発生した。道内の約半分を賄う火力発電所苫東厚真（とまとうあつま)が震源地に近く震度 5 で発電機が自動停止に追い込まれ、3 基ある発電機が順次停止した。電気は需要と供給のバランスが取れないと、周波数が狂うみたいで、今回は供給側の発電量が不足したため、急いで需要側の電力を一部緊急停止したりしたが間に合わず、停止に追い込まれた。もともとそういう事態を想定していなかったからブラックアウトという事態になったが、震度 5 では原発も止まるらしい。震源地の震度(胆振地方東部)は最大 7 で多数の山腹崩れが発生し、死者 41 人を出した痛ましい結果になったが、「全道停電」も深刻な事態を引き起こした。

鉄道も飛行機もストップ、車は走れるが、信号機がストップ、鉄道の踏切の遮断機が下りっぱなしのところもあった。スマホの電気不足で大混乱。自分のはガラ系のケイタイだから、却ってコンビニで入手できる充電器で助かった。困ったのは、そんなに長く逗留するつもりがなかったから、下着など着替えがなくなり、街の洋品店売り場探しが大変だった。札幌ではユニクロの看板を見つけるのが結構大変。盛岡と長崎の娘たちにメールしてスマホで入店しているビルの名前を探してもらった。「大道り」の地下の無印良品店には外国人も多かった。

7　余震

結局 10 日間いたが、「余震」が大変だった。テレビで余震が 4 だったという結果を見るのは見慣れていたが、渦中にいると、地震が起こって、それがどこまで強いのかは、停止しない限り分からない。揺れが始まると、最大の可能性を考え逃げる準備をする。気象庁も 1～2 週間は最大震度 7 の可能性

アリと言っている。体験的には「余震」というのが一番怖いし、やっかいだ。結局、10 日間、他人の家だしほとんど眠れなかった。この後遺症が 11 月いっぱいまで尾を引き、仕事に手がつかなくて皆さんに迷惑かけた。

帰りは北海道新幹線に乗りたかったので、新函館まで列車に乗ったが、途中震源地の近くを走るので、かなりな区間、徐行運転でダイヤが遅延表示だ。因みに、新幹線部分は遮蔽壁が長く続き展望には優れなくがっかりした。

８　地震の教訓

北海道地震は、発電所の大規模集中配置の不安定性に警告を発した。わが国は長らく、なんでも集中、大規模化、効率化の道を歩いてきたが、その道は大変危険性があると分かってきた。とりわけ災害列島のわが国の防災・安全面から小規模・分散型の各種施設や機能面の再評価が必要であろう。自分も貴重な体験をした。札幌市民に感謝して、今後に活かしたい。

芝　忠　（しば　ただし）
1942 年生まれ、東京都立大学工学部卒業して、すぐ神奈川県庁に入り、旧工業試験所で研究及び技術支援業務に携わった。1976 年頃から異業種交流を手掛け、1984 年に神奈川県異業種グループ連絡会議(異グ連)を結成して以来事務局を継続して担当。現在イグレン専務理事。

ホームページ読者からのメール

書籍の有無を教えてください。

Y社のOさんから（2018 年 12 月）

お世話様です。

神奈川県異業種連携協議会の HP に記載されている、「初心者のための資材購買」と「あるべき姿の海外調達」は書籍などで販売していますか？

Oさんへ（筆者からの返事）

この度は、ホームページに関するお問い合わせありがとうございました。

「初心者のための資材購買」はその一部を日刊工業新聞社の雑誌「型技術」に 2018 年 8 月号まで 1 年半にわたり連載しました。書籍としての出版予定はありません。

当イグレンのホームページの方が詳しく説明しております。

「あるべき姿の海外調達」は　失敗に学ぶ海外調達の教訓集　日本プラントメンテナンス協会から 2003 年 2 月出版しましたが絶版となりました。